

報道関係者 各位

**大阪保健医療大学 言語聴覚専攻科  
「対話会」を開催します！**

大阪保健医療大学（大阪市北区・福田益和学長）言語聴覚専攻科は、4年制大学卒業者を対象とした2年課程で、患者様に寄り添える「心あるST」、「現場で役に立てるST」を目指し養成教育を行っています。

言語聴覚士という職業をご存知でしょうか。

タレントの堀ちえみさんやつくもさん、西城秀樹さんらががんや脳卒中であることを公表し、闘病の様子が報道されたことを覚えている方は多いかもしれません。がんや脳卒中では、言語障害や嚥下障害が生じることがあります。そのような方にことばや飲み込みのリハビリテーションを行うのが言語聴覚士です。

言語聴覚士はその認知度が低く、一般の方にはまだよく知られていない職業です。しかし、超高齢化社会の中でそのニーズは大変高く、病院、施設、地域で非常に求められている重要な専門職です。

今回1年生の授業で、言語障害（失語症）をお持ちの患者様（約10名）にお越しいただき、学生とお話をさせていただき「対話会」を開催いたします。来学される患者様の多くは脳卒中によって失語症になられた高齢者で、学生にとっては人生の大先輩です。

どのように工夫すればより多くのことばを引き出せるのか、今、言語聴覚士の卵たちは、コミュニケーションの専門家を目指して奮闘しています。その活動は、人としての相手を知り、障害を知り、患者様の生活や思いを知ろうとする活動でもあります。

社会的ニーズがますます高まっている言語聴覚士の養成校で、このような取り組みを行っていることをぜひ知っていただきたいと思います。授業当日、ぜひ取材にお越しいただきたく、ご案内申し上げます。

**【開催概要】**

授業名：言語聴覚専攻科1年生授業「対話会」

日時：6月1日（土）13:00～15:00

会場：大阪保健医療大学 2号館 6階（大阪市北区天満1丁目17番3号）

【当日のお問い合わせ・取材のお申し込み】大阪保健医療大学 2号館 事務局 TEL: 06-6354-0091

本学の取組みについては、下記をご一読いただくと幸いです。

◎[インタビュー] 対話会の行方 | 1部 対話会のはじまりと教育的価値

<https://st.ohsu.ac.jp/st-magazine/special-taiwakai/>

◎失語症である私が教育支援員として教育に協力する理由

<https://st.ohsu.ac.jp/st-magazine/special-mitani/>

